

四国中央市編

大学生と一緒に四国中央市を拠点とした企業2社と観光地を訪問して、施設見学と交流会を実施。「ものづくり企業」×「霧の森観光」をテーマに、仕事と街の魅力を探る。



！ ものづくり企業を知る

四国中央市に四国本社と巨大な三島工場を構える総合製紙メーカー・大王製紙株式会社。新聞用紙や段ボールなどの産業用紙のほか、「エリエール」ブランドのティッシュペーパーや衛生用紙、おむつ、ナプキンなどの家庭紙を展開。日本の「紙のまち」を代表する企業。



▲多数のモニターと制御盤が並ぶN7・N8マシン中央操作室。ここから一望できる工場の壮大なスケール感に圧倒される。



▲通路に展示された「エリエール」ブランドをはじめとした、さまざまな家庭紙製品について説明を受ける。

異なる大学の学生が交流し、企業や地域、自治体まで巻き込むECCA独自の実践型プログラム。地域や企業を知るだけではなく、公務員志望にもリアルな仕事を知る貴重な機会。今後も継続予定なので、ぜひ参加してください。

詳細はこちらから

特定非営利活動法人
愛媛キャリアコンサルタント協会

<https://ecca.jp>



ECCA
ウェブサイト

！ 観光事業を知る

「新宮村に活気をもたらす」というコンセプトのもと、道の駅 霧の森や温泉、レストラン、宿泊コテージが整備された、清流沿いに広がる自然豊かな複合観光施設・霧の森。地元特産の新宮茶を使った「霧の森大福」が大人気で、癒やしと食を楽しめるスポット。



▲新宮茶専門カフェ「霧の森茶フェ～ゆるり～」、新宮茶ミュージアム、茶フェアを見学。



▲昼食は「霧の森レストラン」で。ざっくばらんに話しながら、霧の森自慢の「霧の森茶そば」をいただく。

はじめてこんな大きな工場に入ってドキドキしました。
実際に大企業を見学する機会があまりないので、今回の見学ツアーを通して、さまざまな経験や工場見学をすることができ、とても貴重な機会となりました。
たくさんの企業や工場の見学ができて楽しかったです。霧の森のおいしいお茶をいたたくことができ、大福も食べて、勉強になり、楽しむことができました。
工場見学やお茶の飲み比べなど、普段できない体験が1日でできとても良かったです。

工場見学やお茶の飲み比べなど、普段できない体験が1日でできとても良かったです。

工場見学やお茶の飲み比べなど、普段できない体験が1日でできとても良かったです。

就職活動支援の一環として2025年9月に特定非営利活動法人愛媛キャリアコンサルタント協会が開催した「産業観光ツーリズム」。愛媛県四国中央市の観光スポット訪問と、同市の企業訪問ならびに職場体験のようすを取材しました。

特定非営利活動法人
愛媛キャリアコンサルタント協会主催の

「産業観光ツーリズム」に潜入！



産業観光ツーリズムってなに？

今回のテーマは「ものづくり企業×観光」。ひとえに就職活動といっても、その地域で就職をするということは、その地域で生活をするということ。仕事のことと街のこと、双方の魅力を知ったうえで、地元愛媛での就職を考える機会にすることを目的としています。



特定非営利活動法人
愛媛キャリアコンサルタント協会
理事長 蔵前純二さん
(聖カタリナ大学 就職課 課長補佐)

聖カタリナ大学で学生の就職を支援。そのなかでも「外部とのつながり」に力を入れ、社会人と学生の交流会や、県内企業を巡るバスツアーなどをみずから企画・実行している。

！ ものづくり企業を知る

四国中央市に本社を置く総合パッケージメーカー・福助工業株式会社。ポリ袋などで国内トップシェアを誇り、食品容器、ラミネート、紙など幅広い包装資材を製造している。環境配慮型製品の開発にも力を入れ、私たちの生活に身近な「包む」文化を支えている。



▲包装資材の「印刷・加工機」のスケールや、製品ができる工程を見学。ものづくりの迫力と技術の高さを実感。



▲福助工業の社員と意見交換。学生からの質問に対し、仕事のやりがいや職場の雰囲気などを伝える。



まずは 四国中央市をプレゼン！

暮らす街としての魅力を四国中央市の職員が学生たちにプレゼン。地元のことだけ意外と知らない、この街の隠れたポテンシャルや暮らしの利点がたくさん。

＼四国中央市ってこんな街／

- 製紙業が盛んで、紙製品の製造出荷額が市町村合併以降、連続で全国1位
- 紙・パルプだけでなく、伝統的な水引細工や手しき和紙も有名
- 四国各県の県庁所在地へ約1時間でアクセスでき、産業物流の拠点として重要